

2021年3月4日

各位

ジェイファーマ株式会社
代表取締役社長 吉 武 益 広

資金調達のお知らせ

当社は、大原薬品工業株式会社を引受先とする第三者割当増資により5億円の資金調達を実施したことをお知らせいたします。このたびの調達により、ラウンドDの累計調達額は、27億46百万円となります。

当社は、細胞膜表面のトランスポーターを標的とした創薬ベンチャー企業であり、2005年に杏林大学を退官された遠藤仁元教授により設立され、様々なトランスポーターを標的とした新規薬剤の研究開発に展開してまいりました。

近年は、Lタイプ・アミノ酸トランスポーター（LAT1）阻害剤の研究開発に特化し、標準的化学療法が不応・不耐となった進行性がんの治療を目的に複数の新規薬剤（JPH203とOKY034）の臨床開発を進めてきております。

今後は、JPH203の胆道がんでの臨床開発、OKY-034のすい臓がんでの臨床開発、更には、LAT1阻害剤の自己免疫疾患への応用を進め、日本発の新規薬剤標的を厳格な臨床試験により立証し、国内のみならず、海外の企業との協業等を通じ、医療への応用を積極的に推進してまいります。

【JPH203について】

JPH203は、ジェイファーマが独自に見出した新規の低分子化合物であり、細胞が増殖或いは活性化されエネルギーを緊急に必要とされるときにアミノ酸の取り込む為に細胞表面に発現するLAT1を選択的に阻害します。LAT1を標的とし臨床開発を進めている世界初の化合物であり、医薬品の承認を取得すれば、日本発のファースト・イン・クラスの医薬品となります。

既に固形がん患者を対象にした第I相試験において、良好な忍容性が確認され、がんに対する治療効果が示唆されており、現在、標準的化学療法に不応・不耐となった進行性の胆道がん患者を対象に第II相試験を実施中です。また、この第II相試験では、患者の背景因子に基づき層別し試験を実施しており、コンパニオン診断薬の開発も同時に進めています。

【OKY-034について】

OKY-034は、JPH203と同じ標的であるLAT1に対してアロステリックに結合することでLAT1の働きを阻害する新規の低分子化合物です。ジェイファーマは、OKY-034の物質特許を保有する大阪大学及び神戸天然物化学より全世界での独占的な専用実施権を得ています。

現在、OKY-034は、標準的化学療法に不応・不耐かつ外科的切除不能すい臓がん患者を対象に大阪大学で医師主導の第I/IIa相試験が進行しています。

【大原薬品工業株式会社について】

大原薬品工業(株)は、オーファンドラッグとジェネリック医薬品の創薬及び育薬を事業の柱とした医薬品会社です。特に小児がん領域を中心としたオーファンドラッグの開発・販売や、医療事故防止に配慮したジェネリック医薬品の開発・製造・販売に注力しています。治療成績の向上や医療環境が大きく変化している現在、治療のみならず、医療の質に影響をおよぼす予防、診断、アフターケアにもイノベーションを活かし、Total Healthcare Solution を提供できる企業をめざしています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

ジェイファーマ株式会社

管理部

Tel: 045-506-1155

Fax: 045-506-1156

info@j-pharma.com

担当：湯沢